

応用統計学会チュートリアルセミナーのご案内

応用統計学会 2017 年大会が 2017 年 3 月 18 日(土) に中央大学後楽園キャンパス 5533 教室にて開催されます。応用統計学会では、日本計量生物学会と合同で大会の前日の 17 日午後にチュートリアルセミナーを企画しました。奮ってご参加ください(チュートリアルセミナー参加費は年会とは別ですのでご注意ください)。また、最新の情報は応用統計学会ホームページ (<http://www.applstat.gr.jp/>) にてご案内します。

1. 日時：2017 年 3 月 17 日 (金) ~~13:30~17:00 (開場 13:00)~~ 14:00~17:30 (開場 13:30)
2. 会場：中央大学後楽園キャンパス 5 号館 5 階 5533 教室
〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27
3. 参加費：正会員、後援学会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (事前申込の場合は各 500 円引き)、学生(会員、非会員とも) 1,000 円 (学生は割引はございません)
4. テーマ：「観察研究における因果推論」
オーガナイザー：田栗正隆 (横浜市立大学)

内容

近年、傾向スコアに基づく方法を含め、潜在反応モデルを用いた統計的因果推論の方法が医学研究における観察研究データの解析に頻用されるようになってきた。また、電子カルテやレセプト等の情報が蓄積された医療情報データベースを活用して、日常診療における薬効評価を行うという試みも行われ始めている。観察研究において因果推論を行う際には、興味のある治療(曝露)とアウトカムの両者に関連する第 3 の要因による交絡が、因果効果を推定する際の大きな問題となる。本チュートリアルでは、交絡の概念とその調整方法を含め、観察研究から因果推論を行うための統計的な考え方について、初歩的なところから解説を行う。複雑な問題においては、因果ダイアグラムと変数間の関係に対する背景知識の活用が重要であることを強調する。

講師：田栗正隆 (横浜市立大学)：潜在反応モデルに基づく交絡調整

黒木学 (統計数理研究所)：因果ダイアグラムと構造的因果モデル

篠崎智大 (東京大学)：時間依存性交絡の調整

5. 申し込み方法：事前申し込みを受け付けます。事前参加申し込み方法につきましては、応用統計学会ホームページ <http://www.applstat.gr.jp/> をご覧ください。また、当日会場でも受け付けしますが、会場が満席となった場合、予稿集が完売となった場合は入場をお断りとするところがあるかもしれませんのでご了承ください。応用統計学会および日本計量生物学会の両会員の方は、事前参加申し込みはどちらか片方のみの登録で十分です。
6. その他：チュートリアルセミナーおよび年会当日に応用統計学会(年会費：5,000 円)への入会の意志を示された方は、チュートリアルセミナーおよび年会とも、参加費は正会員扱い致します。この機会に是非応用統計学会にご入会下さい。
7. 照会先：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町能楽書林ビル 5F
(財) 統計情報研究開発センター内 応用統計学会事務局
e-mail : applstat@sinfonica.or.jp, FAX : 03-3234-7868